

## 別記2（様式3の記載要領）

### 1 「報告者」の欄

報告者が法人の場合は、その名称及び代表者名・住所を記載する。

### 2 「担当者」の欄

当該報告を担当している者の所属部署名、氏名及び電話番号を正確に記載する。

### 3 「貨物名又は技術名、メーカー名若しくは供給者名又は提供者名」の欄

#### (1) 「貨物名」の欄

一般的な用語をもって記載する。

#### (2) 「関税定率法別表の番号」の欄

当該貨物が該当する関税定率法別表の番号を貨物ごとに記載すること。

#### (3) 「技術名」の欄

一般的な用語をもって記載する。どのような技術をどのような方法で提供するかを具体的に記載する。

#### (4) 「関税定率法別表の番号」の欄

提供する技術が対応する貨物の関税定率法別表の番号を記載すること。なお、番号の後に括弧書きで提供される技術の設計、製造又は使用の別を記載すること。

#### (5) 「メーカー名若しくは供給者名又は提供者名」の欄

当該貨物のメーカー名若しくは供給者名又は技術の提供者名を個々の判定対象貨物・技術ごとに記載する。

### 4 「貨物の輸送ルート」の欄

積出地については当該貨物の積出港を記載する。

経由地については積替地又は寄港地のすべての都市を記載する。貨物が複数にわたる場合であって、これらの輸送路が異なる時は、同一経路で輸送される貨物ごとにそれぞれ輸送経路を記載する。なお、輸送手段（航空機、鉄道、船等）について判明している場合は、これも記載することとし、便名等明らかな場合は、それを併記する。当該貨物が最終的に陸揚される仕向地の名称及び通関される都市の名称又は技術の提供国名を必ず記載する。

### 5 「輸入者又は取引の相手方の名称、所在地及び概略」の欄

輸入者又は取引の相手方の概略については、事業内容、従業員数、輸入者の組織（例えば、政府資本比率、外国資本比率）、規模（例えば、資本金、年間売上額、年間生産高）等について簡潔に記載する。なお、買主と荷受人が異なる場合には、併記する。

### 6 「需要者又は技術を利用する者の名称、所在地及び概略並びに1で記載した貨物の設置（使用）又は技術を提供する予定工場等の名称及び所在地」の欄

需要者の概略について、事業内容、従業員数、需要者の組織（例えば、政府資本比率、外国資本比率）、規模（例えば、資本金、年間売上額、年間生産高）等について簡潔に記載する。

なお、報告時に需要者を特定できない場合は、本欄に必ずその理由を明記すること。（例：輸入者が販売代理店であり、販売先が未定のため）

### 7 「需要又は技術の利用の概要」の欄

貨物又は技術ごとに具体的に記載する。

なお、報告時に最終需要者を特定できない場合は、本欄に必ずその理由を明記すること。（例：輸入者が販売代理店であり、販売先が未定のため）

### 8 「報告理由」の欄

当該提供しようとする技術又は輸出しようとする貨物が核兵器等の開発等若しくは省令の別表に掲げる行為のために利用され、又は用いられることとなることを知るに至った経緯を記載する。具体的には、情報提供者又は情報入手先、知った内容及び核兵器等の開発等若しくは省令の別表に掲げる行為のために利用され、又は、用いられることとなる根拠について記載し、当該事実を示す文書等があれば添付する。

また、当該技術又は当該貨物の取引又は輸出の予定日を記載すること。

なお、記載する内容が多く、当該欄に記載することができない場合は、「別紙参照」と記入し、別紙において「報告理由」を記載すること。

### 9 「受理年月日及び受理番号」の欄

受理後一通を返却します。